

報道関係者各位

大阪府×BIKEN 「従業員とお客様を守る。企業リスクとして考える職場の風しん対策セミナー」開催

一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、BIKEN 財団、本部：大阪府吹田市、理事長：山西弘一）は、大阪府と共に、企業向け風しん対策セミナー「従業員とお客様を守る。企業リスクとして考える職場の風しん対策セミナー」を開催いたします。

昨年から全国的な流行が続く風しんは、発症した本人に高熱などの症状が出るほか、妊娠初期の女性が感染すると、胎児に先天性の障害をもたらすこともある感染症です。2019年度から、これまで風しんの予防接種を受ける機会がなかった40～57歳^{*}の男性を対象に第五期定期接種が開始され、対象者には順次クーポン券が配布されています。しかし、対象者は働き盛り世代であり、「忙しい」「時間がない」などの理由から医療機関への受診に消極的で、クーポン券の利用率は全国的に伸び悩んでいます。

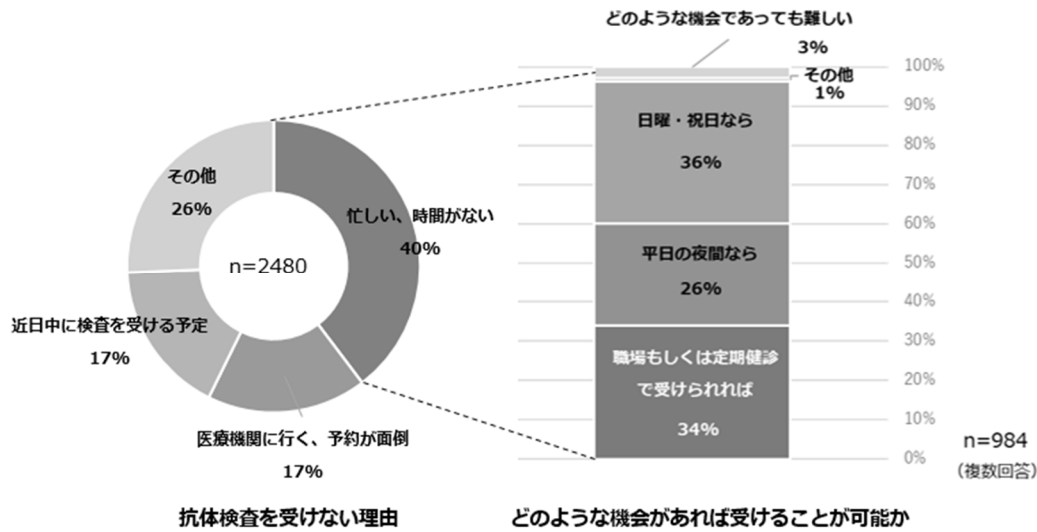
本セミナーでは、企業で風しん対策に取り組んでいただくことを目的に、職場での風しん拡大がもたらす影響と風しん対策の必要性、そして企業で実施できる対策方法について、医師や行政担当者からの説明や、企業事例を交えながら分かりやすくお伝えします。

^{*}1962年4月2日～1979年4月1日生まれ

日時:2020年1月30日 14:00～16:30 (13:30 受付開始)
主催:大阪府、Well-Being OSAKA Lab、一般財団法人阪大微生物病研究会、
後援:関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会
会場:大阪大学中之島センター10F 佐治敬三メモリアルホール
対象:事業主、企業の健康管理担当者(事前申し込み要)

企業からのアプローチが不可欠

BIKEN 財団では、第五期定期接種の対象である40～57歳の男性7,200名に、風疹や定期接種に関する認知と、予防接種をうける際の課題や求めるサポートを明らかにすることを目的にインターネットによるアンケート調査を実施しました。同調査で、クーポン券を受け取ったにも関わらず抗体検査を受けていない2,480名に「(クーポン券を利用して)抗体検査を受けない理由」を調査したところ、40%の方が「忙しい、または時間がないから」と回答しています。さらに、その中で34%の方が「職場で抗体検査・予防接種が受けられるなら受診する」と回答しています。働き盛りである第五期定期接種の対象者がクーポン券を利用して風しんの抗体検査を受けるには、企業からのアプローチが不可欠です。



調査期間：2019年6～11月

一般財団法人阪大微生物病研究会（BIKEN 財団）について

BIKEN 財団は、ワクチンの研究・開発と生産・供給を担う、バイオ・スペシャリティー・ファーマです。1934年の設立以来、社会の要請に応え、数多くの日本初となるワクチンの開発、生産、供給を行なうとともに、先進的な臨床検査サービスを提供し、公衆衛生に貢献してまいりました。

BIKEN 財団はこれからも「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る。」というミッションの下、病の不安から解放された、すこやかな社会をめざし、高度なサイエンスと独自のバイオ技術の進歩を追及し続けます。

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人阪大微生物病研究会 広報室

TEL : 06-6877-4802 e-mail:biken-pr@mail.biken.or.jp

※本セミナーの取材をご希望の場合はお手数ですが、事前に上記問い合わせ先までご連絡いただけますよう、よろしくお願いいたします。